

いちのみやの芸術文化

□「特集」愛知県内の三岸節子作品を訪ねて

□一宮市芸術祭アルバム

□「エッセイ」小さな芽のそばで

吹奏楽・管弦楽部門

ファミリアアンサンブルおとのは／坂麻衣子

□文化情報

三岸節子《太陽讃歌(山はくれない)》
1969年 2022年度寄贈作品
一宮市三岸節子記念美術館蔵 ©MIGISHI
(90.0×72.0cm)

2026.3

第69号

一宮市芸術文化協会

「二宮市」には、二宮市博物館・二宮市三岸節子記念美術館・二宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

愛知県内の三岸節子作品を訪ねて

1. 愛知県内の三岸節子作品

一宮市三岸節子記念美術館では現在、三岸節子による油彩画・デッサン等約二二〇点を所蔵していますが、愛知県内には他にも節子の絵画を持っている美術館が多数あります。県内では、名古屋市美術館、堀美術館(名古屋市東区)にまとまった数の節子作品のコレクションがあり、愛知県美術館、岡崎市美術館、刈谷市美術館、豊橋市美術館等にも節子の絵が収蔵されています。三岸節子は郷土の画家として、県内各地の館に作品が収められ、地域の方々に愛されてきました。そんな県内にある三岸節子作品から、今回は特にユニークな作品をご紹介します。

2. 堀美術館「暁暗」

卵のような楕円形の輪が三つ、画面の中央を転がるかのように配置されています。背景の燃



▲図1 三岸節子《暁暗》1965年 堀美術館蔵
©MIGISHI
(130.5×162.0cm)

えるような赤、空の青さと相まって、一度見たら忘れられない強烈なインパクトにあふれた作品です【図1】。

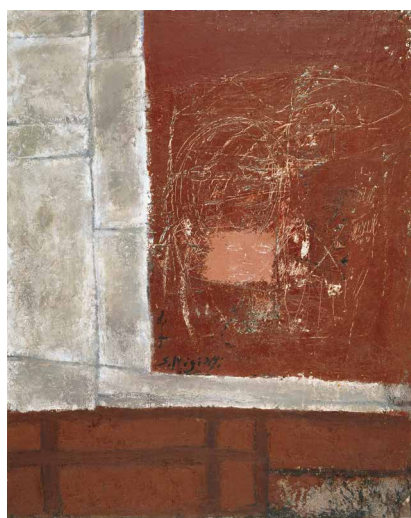
本作を描く前年の昭和三十九年(一九六四)、節子はそれまで暮らした長野県軽井沢から、神奈川県大磯に転居しました。そこは明るい太陽

の光が降り注ぐ丘陵地だったことで、軽井沢時代の内省的な作風から一転、太陽を讃えた「太陽讃歌」シリーズ【表紙】を生み出していきました。

タイトルの「暁暗」とは、闇の中を朝日が照らし出した頃のこと。そうすると、これは山並みから太陽が顔を出した場面でしょうか。三つの楕円は、昇りゆく太陽の異時同図(一枚の絵の中に違う時間の出来事を同時に描く手法)のようにも見えます。これから輝こうとするエネルギーを内包するような力強い画面は、画家として開花していく節子そのものを表現しているかのようです。

3. 愛知県美術館「らくがき」

変わったタイトルながら、作品【図2】を見れば誰もがその意味に納得してしまいます。赤みを帯びた壁には、どこかの子どもが引っこ掻いて



▲図2 三岸節子《らくがき》1973年 愛知県美術館蔵 ©MIGISHI
(92.2×72.9cm)

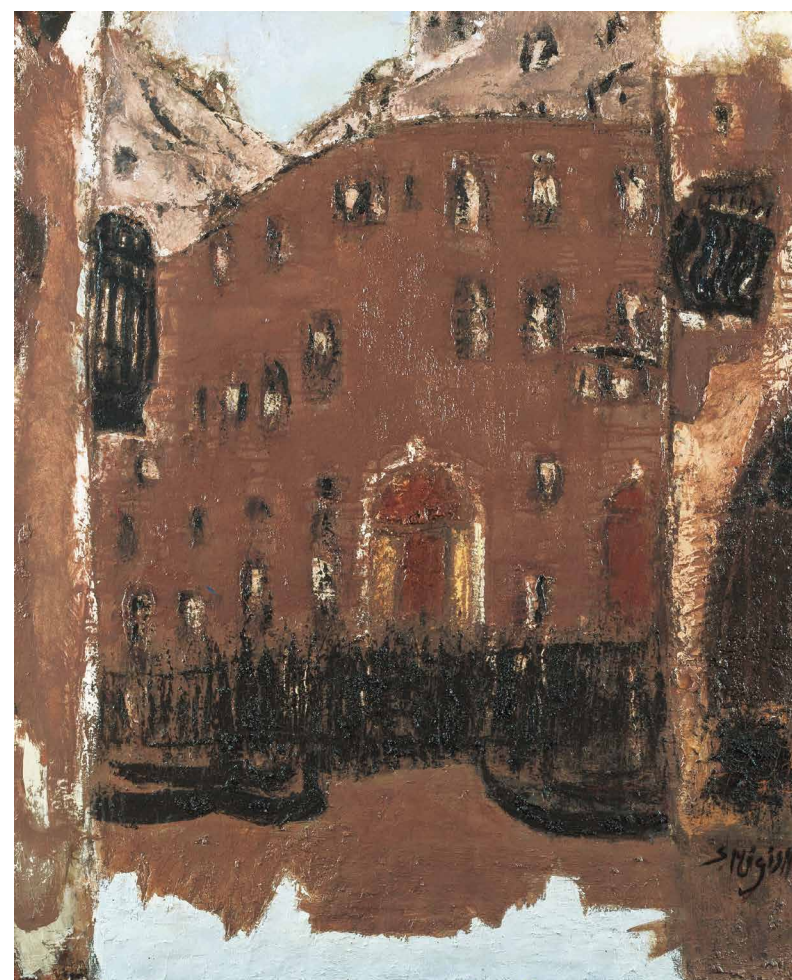


▲図3 三岸節子《らくがき》(愛知県美術館蔵)の元となったと考えられる写真 1973年頃撮影:三岸節子 提供:高輪画廊

描いたのか、人の顔の「らくがき」が。節子もまた画面を引っ掻いて、図像を浮かび上がらせています。下地に黒を用いてその上に白、赤を重ね、表面をガリガリと削っていく描法からは、まるでいたずらを試みるような画家の描く喜びが伝わってくるようです。

この作品には、元となった風景を画家自身が撮影した写真が残っています【図3】。この光景に出会ったとき、節子は「おもしろい」と直感したのでしょう。写真には、絵と同じ、四

角い顔にバツ印を付けたらくがきが写り込んでいます。写真には顔の他にもたくさんのがきが写っていますが、絵では四角い顔の部分にフォーカスされ、作者の美的な感覚により構成されています。昭和四十三年(一九六八)、節子は大磯を離れて家族とともにフランスへ移住すると、そこを拠点にイタリアやスペインにも足を伸ばして、風景画を制作しました。「らくがき」の舞台ヴェネチアは、節子が特に愛した地で、【図4】



▲図4 三岸節子《小運河の家》(1)1972年 一宮市三岸節子記念美術館蔵 ©MIGISHI (100.0×81.0cm)

のように運河やゴンドラを描いた作品を多く残しています。が、とぎにらくがきの壁といった街角の何気ない風景にも惹かれていたことが分かります。

県内にあるこれらの三

岸節子作品は、それぞれの美術館に所蔵されており、また普段から各館の常設室に展示されているとは限らないため、並べて見ることは叶いません。しかし、作家の生誕記念展等を当館で開催する際には、一堂に会することがありますので、その時にはぜひお見逃しなくご覧下さい。

(一宮市三岸節子記念美術館

学芸員 野田路子)



0回 芸術祭

(11・12月分)

美術部

第41回一面会能・狂言面作品展



11月8日(土)~9日(日)
アイプラザ一宮
一面会

芸能部

こま希久会日舞発表会



11月9日(日)
アイプラザ一宮
一宮舞踊協会

おとのはクリスマスファミリーコンサート



12月7日(日)
尾西信金ホール(木曾川文化会館)
ファミリーアンサンブルおとのは

第70回(公社)中部日本書道会 一宮支部展



11月22日(土)~23日(日)
一宮スポーツ文化センター
(公社)中部日本書道会一宮支部

第23回尾西作家協会展



12月2日(火)~7日(日)
三岸節子記念美術館
尾西作家協会

一宮市民吹奏楽団第50回定期演奏会



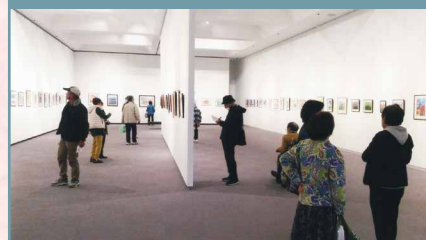
12月14日(日)
尾西市民会館
一宮市民吹奏楽団

第53回(公社)中部日本書道会 一宮支部学生書道展



11月22日(土)~23日(日)
一宮スポーツ文化センター
(公社)中部日本書道会一宮支部

水彩画アクア展



12月9日(火)~14日(日)
三岸節子記念美術館
アクアの会

古くから
継承され
てきた芸
能の発表
に、会場か
らは大き
な拍手が
起こりま
した。



一宮市に
令和7年12月21日(日)、愛知県
文化協会連合会西尾張部芸能大
会が、大口町民会館にて開催され
ました。本協会からは、宮後住吉
踊保存会(一宮民俗芸能連盟が
出演し、手踊り「豊年・すがわき・
音頭」を披露しました。

愛知県文化協会
連合会の催し
西尾張部芸能大会(報告)

楽しく描こう会水彩画展



12月16日(火)~21日(日)
三岸節子記念美術館
楽しく描こう会

一宮市

開催報告

「第80回一宮市芸術祭」を2025年9月から12月に市内各所で開催しました。期間中には41行事が開催され、16,000名を超える方が来場されました。

音楽部

一宮シティ合奏団第31回定期演奏会



11月2日(日)
尾西市民会館
一宮シティ合奏団

文学部

俳句大会



11月2日(日)
一宮スポーツ文化センター
一宮俳句協会

吟道関心流愛知県本部真和支部50周年吟詠大会



11月2日(日)
アイプラザ一宮
吟道関心流愛知県本部真和支部

一宮三曲協会定期演奏会



11月23日(日)
尾西信金ホール(木曾川文化会館)
一宮三曲協会

市民短歌大会



11月9日(日)
一宮スポーツ文化センター
真清短歌会

曾山流樹徳吟詠会山瑩会第103回錬成会



11月2日(日)
尾西商工会館
山瑩会

尾西ウインドオーケストラ第95回定期演奏会



11月23日(日)
尾西市民会館
尾西ウインドオーケストラ



桐山要さん
「吉祥止止」



富田淳子さん
「カモフラージュ」

第50回愛知県文連美術展(報告)
令和8年1月20日(火)～25日(日)、愛知県美術館ギャラリーにて、第50回愛知県文連美術展が開催されました。
今回は50周年記念事業として写真部門が設けられ、本協会からの出品作品も会場に展示されました。
受賞者は次のとおりです。
桐山要さん(書部門)
富田淳子さん(洋画部門)

小さな芽のそばで

吹奏楽・管弦楽部門 ファミリーアンサンブルおとはの坂^{ばん} 麻衣子

ファミリーアンサンブルおとはのは、子育て世代のママたちを中心に活動する吹奏楽団です。

学生時代に青春の多くを費やした吹奏楽ともう一度向き合いたい、そんなシンプルな気持ちから楽器を再開しました。けれど、子育てしながら活動することは思っていたよりずっと大変でした。平日の夜は練習に行けない。休日は家族の予定が優先。子どもを連れ



ファミリーコンサートオリジナルステージ

て行ける場所も限られる。それならば「ママたちが気軽に音楽を楽しめる場所を作ろう」という気持ちから、おとはのは生まれました。

練習場所にはいつも子どもたちの笑い声や走る足音、泣き声が響いています。けれど、そのすべてを「生活と音楽が混ざり合う音」として自然に受け入れてきました。静まり返った空間で奏でる音ではなく、暮らしの延長線上にある音。その温度のある響きこそが、おとはのはの原点です。

ステージづくりにも私たちらしさがあります。ただ座って演奏するだけでなく、子どもたちに「音楽って楽しいー」と感じてもらうために視覚的な演出を積極的に取り入れています。たとえばエレクトロカルパレードのステージでは、手作りのフロートやキラキラ光る汽車が登場し、客席の子ども



ファミリーコンサートカーテンコール

たちは目を丸くして見えています。

子どもがいても、ブランクがあっても、練習に100パーセント集中できない日があっても、それでも「また音楽に戻りたい」と思う気持ちを大切にできる場所でありたい。私自身が支えられ、救われてきたからこそ、そう感じています。

私たちが目指すのは「親子で文化を楽しむ場が当たり前にある地域」です。子育て中の大人が文化から離れていくのではなく、生活のすぐそばに音楽がある時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。そして、おとは

の演奏を聴いた子どもたちが、音楽に少しでも興味を持つてくれたら、と願っています。

「おとは」という名前には、今は小さな芽でも、みんな大切に育てて、いつかきれいな花が咲きますように、という思いを込めています。小さな葉っぱが風に乗って遠くへ届くように、私たちの音も誰かの心にそっと残るように。日々の生活の中に寄り添い、子どもも大人も一緒に息をすーそんな場所を、これからも続けていきたいと思っています。

おとはのはの活動に興味のある方は下記よりご確認ください。



OTONOA.BRASS



おとはのはのメンバー



露堂々 龜山 雪峰

加入団体の 催し

『箏曲演奏会』

【問合せ先 藤乃会】

☎(62)83227

日時▼3月29日(日) 午後1時30分〜

会場▼尾西商工会

内容▼箏曲の演奏会を行います。

入場料▼無料

『能・狂言面の制作』

【問合せ先 一面会】

☎(71)2716

日時▼4月4日(出)・25日(出)

5月9日(出)・23日(出)

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼4月11日(出)・5月9日(出)

6月13日(出) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により

優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼4月19日(日)・5月17日(日)

6月21日(日)・7月19日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を実作指導し

ます。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月末日(必着)

までにハガキにて、参加希

望日・当季雑詠2句(初参

加の方は希望者のみ)・郵

便番号・住所・氏名(ふり

がな)・電話番号・参加経

験の有無を記入の上、次

頁事務局まで送付

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼4月12日(日)・5月10日(日)

6月14日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼実作指導(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『春季謡曲大会』

【問合せ先 一宮謡曲同好会】

☎(73)1388

日時▼4月19日(日)

午前9時30分〜

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼素謡、連吟等の発表

入場料▼無料

『大正琴発表会』

【問合せ先 琴城流大正琴幸会】

☎(62)6147

日時▼4月26日(日) 午後1時〜

会場▼墨会館

内容▼民謡、唱歌、昭和歌謡など懐

かしい曲目を演奏します。

入場料▼無料

『市民川柳教室』

【問合せ先】一宮川柳社

☎(85)7074

日時▼4月26日(日)・5月24日(日)

6月28日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の

3日前までに下記事務

局まで電話

『一宮音楽家協会 サロンコンサート』

【問合せ先】一宮音楽家協会

☎(45)9241

日時▼5月10日(日) 午前11時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼ピアノや声楽でクラシッ

ク、ポップスなど、親しみ

やすい名曲を気軽に音楽

しみいただけるコンサ

トです。

入場料▼無料

『一宮市民吹奏楽団 レインボーコンサート2026』

【問合せ先】一宮市民吹奏楽団

☎080(5102)8611

日時▼6月21日(日)

午後1時30分～

会場▼尾西市民会館

内容▼麒麟が来る、刑事ドラマ

メドレーなどドラマ主題

曲、挿入曲をお楽しみく

ださい。今回も会場の皆

さんと「星条旗よ永遠な

れ」を演奏します。

入場料▼500円(前売400円)

中学生以下無料(要整理券)

『尾西ウィンドオーケストラ 第96回定期演奏会』

【問合せ先】尾西ウィンドオーケストラ

☎090(7028)9165

日時▼6月28日(日) 午後2時～

会場▼尾西市民会館

内容▼クラシックからジャズ・

ゲーム音楽まで幅広い

ジャンルで楽しいコン

サートを開催します。

入場料▼500円

中学生以下無料(要整理券)

春の市民美術教室

対象●市内在住・在勤・在学の方
申込み●各教室の申込締め切り日までに電子申請
または電話で芸術文化協会 (☎0586-85-7074)
※電子申請は一宮市公式ウェブサイト
または下記2次元コードから申し込み
できます。

油彩・アクリル画『初心者からの油彩・アクリル画』

日時●5月22日～7月3日の金曜日(6月26日を除く)
午前10時～正午
会場●いちのみや中央プラザ体育館(第1・2会議室)
内容●油彩またはアクリル画の基礎を学び、人物画を描きます。
講師●大島麻琴さん(二科会会員、一宮美術作家協会)
定員●40名(抽選)
受講料●4,500円(教材費含む)
申込締め切り日●4月23日(木)



写真『楽しく始める芸術写真』

日時・会場●5月7日～28日の木曜日
午後1時30分～3時30分一宮スポーツ文化センター
屋外撮影会 5月10日、17日(日)138タワーパーク等
内容●屋外での撮影を交え、写真の基礎を学びます。
講師●夫馬勲さん(日本写真家協会会員)
定員●20名(抽選)
受講料●1,500円
申込締め切り日●4月16日(木)



書『楽しみ、親しみま‘書’』

日時●6月3日～7月8日の水曜日
午前9時30分～11時30分
会場●一宮スポーツ文化センター
内容●書道の基礎を学び、自分らしい字でオリジナル作品を作ります。
講師●川浦碧濤さん((公社)中部日本書道会一宮支部)
定員●20名(抽選)
受講料●2,400円(教材費を含む)
申込締め切り日●5月14日(木)



[題 字]武 山 翠 屋
[編集・発行]一宮市芸術文化協会

[連絡先]一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213